

# 2020年度 期末決算について

2021年5月

JR東日本ステーションサービス

## 1. 「株式会社」JR東日本ステーションサービス」決算概要

### ○損益計算書

(単位：百万円)

	2019年度 実績 A	2020年度 実績 B	増減		2021年度 予想 C	増減	
			金額 B-A	% B/A×100		金額 C-B	% C/B×100
JR東日本 ステーションサービス 営業収益	14,785	16,274	1,489	110.1	15,682	△ 592	96.4
売上総利益	1,698	2,566	868	151.1	1,672	△ 894	65.2
営業利益	304	784	479	257.6	10	△ 774	1.3
当期純利益	214	532	318	248.3	15	△ 517	2.8

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しています。

### ○当社の経営成績

2020年度期末決算は、増収増益となりました。

営業収益は、13箇所の新規受託や、前年度新規受託26箇所の平年度化による増収により、前年を上回りました。これはコロナ禍においても「3つの駅づくり」の実現をめざし、各種事故防止及びサービス品質向上など全社員が一丸となって取り組んだ成果です。

費用は、社員数増加及び、タブレット端末通信費（SSTab）や各種システム使用料等に係る費用は大幅に増加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大による様々な多売・混雑対応の縮小・中止及び、自宅待機・テレワーク等による人件費減少や各種行事・イベントの縮小等による費用減とコストダウン効果と合わせて大幅に下回ったことから、大幅な増益となりました。

以上、当社の2020年度決算は、昨年度に引き続き順調に推移しました。一方、親会社であるJR東日本やグループ会社の多くでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、極めて厳しい状況でありJR東日本グループ連結決算としても過去最低の営業収益となり、初めて営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する当期純損失を計上しています。

このような状況を踏まえ、引き続き社員一人ひとりが日々の業務の中で「凡事徹底」の積み重ねと「変革」への挑戦の両輪により、「業務品質向上」及び「効率的な働き方の実践」によるコストダウンと慎重な経費の執行をお願いします。

○2021年度の業績予想は、大幅なコストダウンに伴う受託契約額の見直しにより、当社設立以来初めての減収減益。

## 2. 「東日本旅客鉄道株式会社」決算概要（4月28日決算説明資料より抜粋）

### ○損益計算書

(単位：億円)

第3四半期	第3四半期累計(4月1日～12月31日)				通期(4月1日～3月31日)			
	2019年度 実績 A	2020年度 実績 B	増減 金額 B-A	% B/A×100	2019年度 実績 C	2020年度 予想 D	増減 金額 D-C	% D/C×100
JR東日本 単体	16,001	8,861	△ 7,139	55.4	20,610	11,720	△ 8,890	56.8
うち運輸収入	14,063	7,212	△ 6,851	51.3	17,928	9,430	△ 8,498	52.6
営業利益	3,534	△ 2,878	△ 6,413	-	2,940	△ 5,080	△ 8,020	-
経常利益	3,282	△ 3,171	△ 6,453	-	2,601	△ 5,470	△ 8,071	-
四半期(当期)純利益	2,135	△ 2,302	△ 4,437	-	1,590	△ 3,950	△ 5,540	-
連結	22,668	13,082	△ 9,603	57.6	29,466	17,730	△ 11,736	60.2
営業利益	4,272	△ 3,230	△ 7,502	-	3,808	△ 5,350	△ 9,158	-
経常利益	3,925	△ 3,730	△ 7,655	-	3,395	△ 5,960	△ 9,355	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,515	△ 2,945	△ 5,461	-	1,984	△ 4,500	△ 6,484	-

期末決算	2019年度 実績 A	2020年度 実績 B	増減		2021年度 予想 C	増減	
			金額 B-A	% B/A×100		金額 C-B	% C/B×100
JR東日本 単体	20,610	11,841	△ 8,769	57.5	16,770	4,928	141.6
うち運輸収入	17,928	9,543	△ 8,385	53.2	14,240	4,696	149.2
営業利益	2,940	△ 4,786	△ 7,726	-	370	5,155	-
経常利益	2,601	△ 5,177	△ 7,778	-	0	5,177	-
当期純利益	1,590	△ 5,066	△ 6,656	-	250	5,316	-
連結	29,466	17,645	△ 11,820	59.9	23,260	5,614	131.8
営業利益	3,808	△ 5,203	△ 9,011	-	740	5,949	-
経常利益	3,395	△ 5,797	△ 9,193	-	250	6,047	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,984	△ 5,779	△ 7,763	-	360	6,139	-

### ○決算のポイント

・単体決算は、新型コロナウイルスの影響を受けて、営業収益、運輸収入が2期連続の減収かつ、過去最低。また、期末決算として初めて営業損失・経常損失・当期純損失を計上。

・連結決算は、新型コロナウイルスの影響を受けて、運輸事業や流通・サービス事業、不動産・ホテル事業が大幅な減収となったことなどにより、2期連続の減収。期末決算として過去最低の営業収益となり、初めて営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する四半期純損失を計上。

○2021年度の業績予想は、黒字回復を目指し、対前年では増収増益となるものの、対前々年では全ての利益が減益。

以上